

第6号

【編集発行】
栃木市文化活動協議会
住所:栃木市万町9番25号
栃木市教育委員会
事務局文化課内
TEL: 0282-21-2496
FAX: 0282-21-2690
【題字】 田中 暁亭氏

文協とちぎ

岩船山高勝寺山門(県指定文化財)と
仁王像



コロナ禍の中 魅力ある文化活動協議会を目指して

栃木市文化活動協議会
会長 荒川 里子

令和4年6月24日栃木市文化活動協議会総会。コロナウイルス感染防止対策を徹底した上、大川秀子市長様をはじめ多くのご来賓の皆様のご臨席を頂き開催。

今年度もコロナウイルス感染拡大防止のため、文化活動に制限を要求される中でしたが、各支部文化の歩みを止めることなく、努力と工夫をし活動してきました。

特に、活動のメイン行事となる各支部文化祭は、一部縮小した開催にはなりましたが、発表という目標(希望)に向かって一人ひとりが生き生きと文化活動ができた事と思っております。

そして、私達にとって尚一層うれしい話題として、文化活動の意欲につながる「栃木市立文学館」と「栃木市立美術館」の素晴らしい両施設が開館しました。

まだまだコロナ禍の出口が見えない状況ですが、「栃木市文化活動協議会」は、「わたしが光り みんなで輝く 文化の息づく まちづくり」を目指し、栃木・大平・藤岡・都賀・西方・岩舟全6支部の文化を、栃木市全体の文化発展と継承につなげ、一層魅力ある文化活動を目指してまいります。

都賀文化協会

秋の都賀文化祭におきましては、10月22日から11月6日まで、都賀公民館ロビー・講堂や体育館において、「展示」「歌謡」「芸能」「音楽」の4部門全て開催することができました。



△ 展示部門



▽ 歌謡部門

「舞台部門」は無観客(関係者のみ)にておこなわれました。その中で、

芸能部門



音楽部門の参加者は、一年間の成果を発表できた事にたいへん満足を感じていました。

今後の行事に令和5年3月4・5日の「栃木市文化活動協議会活動交流会」がありますので、その発表に向けて今から練習に励んでいきたいと思えます。



▽ 音楽部門

西方文化協会

文化の火を灯し続けて

西方文化祭実行委員会は、文化活動団体及び教育関係団体が連携協力し、文化祭を開催し優れた芸術文化に身近に触れる機会をつくることにも、文化の香り高い心豊かな魅力ある町づくりに寄与することを目的としている。ただ、今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、規模を縮小して実施する方向で動き出した。展示部門、ステージ部門、記念公演の3本立ては変わらないが、出品作品や発表団体等以前に比べ少なくなっている。

今回は、西方文化祭の特徴のひとつである記念公演の様子を紹介したい。文化祭2日目は、100名近い来場者が集う体育館サブアリーナにいきなり倉沢大樹さんによるエレクトーンによる豊かな音色が響き渡った。ジャズ風なアニメソングに始まり、演歌や歌謡曲などビッグバンドさながらのサウンドに多くの聴衆が圧倒されていた。続いて「八木節」。鍵盤をたたいて表現する和太鼓の響きや三味線の音色、掛け声などあらゆる音を



表出するエレクトーンに改めて感動した。後半は、マリimba奏者の三田喜良さんの飛行「、演歌など、大きなマリimbaの奥深い響きやときに6本ものマレット(バチ)を巧みに操る演奏に感心しながら、最後は「アメリカンパトロール」で、2時間はあつという間に過ぎ、まさに優れた芸術・文化にどっぷりと浸れたひと時だった。

文化協会会員の高齢化や活動団体の減少等、課題はいくつもあるが栃木市のお力添えいただき、文化・芸術の灯をいつそう明るく灯し続けていきたい。

が、江戸時代、牛来寺には寺子屋があった。境内には先生(阿闍

東第23番(観音)霊場でもある。

東第11番(薬師)霊場、都賀坂

けに常時開扉している。都賀坂

年(1993)の修復をきっかけに

ともとは秘仏であったが平成5

の文化財指定を受けている。も

来)は平安時代の作とされ、県

平成になって修理が施された。本尊

の薬師如来坐像(薬師瑠璃光如



薬師堂(本堂)

開山堂

大平文化協会

慈覚大師に由来する 牛久地区の菩提寺

牛来寺は嘉祥3年(850)に慈覚大師円仁によって開基したと伝わる古寺である。伝説によれば、慈覚大師が蓮華まだらの牛に乗って諸国を巡行していた折、この地で悪病が流行し人々が苦しんでいたのを見て、沐浴して折ったところ、人々が快癒したという。大師は寺を建立し、薬師如来を安置した。これが牛来寺の始まりと伝えられている。

この地が「牛久」と呼ばれ、寺が牛来寺という名前であるのも、大師が牛に乗って訪れ苦しんでいる人々を救った、様々な伝説に関わりがあると考えられる。

寺には江戸期以前のもものと思われる慈覚大師座像が安置されている。本尊の薬師如来坐像が安置された。本尊の薬師如来坐像(薬師瑠璃光如来)は平安時代の作とされ、県の文化財指定を受けている。もともとは秘仏であったが平成5年(1993)の修復をきっかけに常時開扉している。都賀坂東第11番(薬師)霊場、都賀坂東第23番(観音)霊場でもある。

梨)を生徒(筆子)が供養した墓石があり当時をしのばせる。またこの寺子屋からの出火で本堂が焼けたとき薬師堂は薬師如来の加護が残ったため、以来薬師堂を本堂としているという。

緑豊かな境内を散策すると、仏の教えに知らず知らずのうちに頭の垂れる心持がする。

岩舟文化協会

文化祭開催

令和4年度の文化協会は、28団体、会員約200名で構成されています。コロナ禍の為、活動に制約もあることや高齢化に伴い、会員も、減少しています。新しい会員を募集しています。

岩舟文化祭が、10月29日(土)・30日(日)の2日間にわたり、3年ぶりに会場を縮小し、感染対策をしながら開催されました。



コスモスホール 展示場



公民館展示場



コスモスホール 演技(よさこい)

催されました。会員は、コロナ禍でも、作品作りや歌の練習、踊りの稽古など、工夫しながら活動を続けてきましたので、今回の文化祭開催で日頃の練習の成果を発表することができました。

また、幼・保、小、中学校や多くの各種団体の参加、協力を得て、充実した文化祭となりました。協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。大変な状況は、すぐには、好転する事はないと思いますが、文化の発展の為に、会員一丸となって活動していきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。

栃木文化団体連絡協議会

文化祭復活へ

まだまだコロナ禍は否めないところではありますが、それぞれの団体が努力、工夫を凝らして活動を継続し、発表の場を求めてがんばっています。

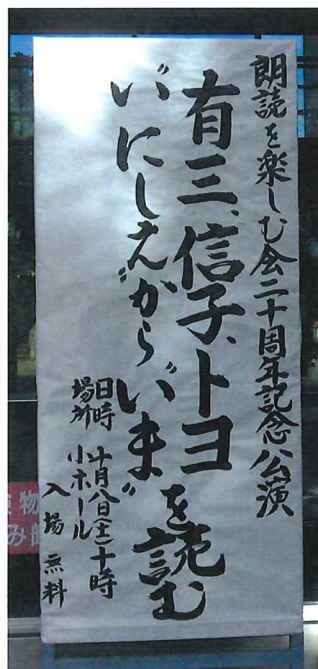
そのうちのひとつ「朗読を楽しむ会20周年記念公演会」が10月8日とちぎ岩下の新生姜ホールで行われました。さらには、10月29日、30日には栃木市茶華道協会による「いけばな展・茶会」がとちぎ岩下の新生姜ホール展示室で開催されました。

いずれも久しぶりの開催であり、場内は十分に感染防止対策を講じながら行われました。

「朗読を楽しむ会」では、じっくりとたつぷりと朗読劇というスタイルを織り交ぜながら、聴衆を魅了しました。

一方で、「いけばな展・茶会」は、独特の華やいだ雰囲気と癒やしの香りに包まれていました。

栃木おやこ劇場舞
台鑑賞会、栃木市合
唱連盟合唱祭、大町
寄席、栃木フィルハ
ーモニー交響楽団定
期演奏会：等々、第



43回の栃木市文化祭は、昨年よりも多くの団体が発表を成功させているのは喜ばしい限りです。さらには、11月3日に待望の「栃木市立美術館」がオープンしました。地元密着型、市民参加型の運営を目指しています。

今後大いに活用して欲しいと思います。

藤岡文化団体連絡協議会

伝統芸能を後世に

藤岡八木節愛好会は、平成22年に発足し、13年目を迎える団体です。足利連合会所属の元、お囃子、踊りの構成で、現在28名で活動をしております。

今まで例年の活動としては、地域のお祭り、文化祭、発表会、施設への慰問などでした。

チャリティーイベントも行い、「田中正造、没後100年」にて、車いす5台を市に寄贈いたしました。また「コロナに負けるな八木節祭り」として、市長に寄付金を贈呈してまいりました。

コロナ禍になり暫く練習の出来ない時期がありましたが、最近になり少しずつイベントが出来るようになってきましたので、ご報告をさせていただきます。

● 足利の太平記館では、観光八木節として年2回観光の方々にお披露目すると共に、ご参加頂き輪が広がりました。

● 地元の展示場のイベントや、踊りの発表会に参加させて頂き、活気が戻ってまいりました。

● 3年振りに藤岡文化祭が開催され、懐かしい顔ぶれに喜び合い、多くの方々から笑顔をいただきました。



【練習日】第2・3・4水曜日 夜8時~10時
【練習場所】栃木市三鴨地区公民館
※随時、見学や体験OK